

第 292 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 25 年 6 月 4 日 (火) 11:50~13:20
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix おひるま協同組合
[放送日時] 平成 25 年 5 月 22(水) 11:30~14:55
[出演者] 南真世・日下純、(準レギュラーゲスト) 武良静枝

4. 出席者

[委員] 委員長 出口泰規 副委員長 谷川眞美、
委員 角田哲康 委員 山本りさ
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
取締役業務推進本部長兼営業推進部長 竹内照夫
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 6 月 6 日株主総会の開催、役員の変動について
- V-LOW マルチメディア放送の参入希望調査結果について
- 国のラジオ局強じん化政策における民放ラジオ局意見聴取の結果について
- スタジオ設備の更新作業完了について
- 営業放送支援システム、APS システムの設備更新計画について
- 6 月 3 日~9 日の静岡県ラジオ聴取率共同調査について

6. 番組審議

[対象番組] K-mix おひるま協同組合

[放送日時] 平成 25 年 5 月 22(水) 11:30~14:55

[番組内容] 一日の中で“その人らしさ”がイチバン発揮される“おひるま時間”。南真世、日下純の 2 人と、思い思いの時間を過ごすリスナーが“ラジオの架け橋”で通い合い、「あーだ、こーだ」の井戸端会議。音楽もトークもたっぷりゆっくりお届けする。5 月 22 日の話題は「5 年後の自分、想像できますか？」

[聴取・合評での主な意見]

谷川副委員長 南さんと日下さんの 2 人がおもしろかった。2 人よりも年齢が上の人にウケが良さそうな感じだ。番組構成において、「この内容をやっている、大体この時間」というような目安がない。メリハリがもっとあった方が

よい。

角田委員

聴き易い雰囲気、ラジオの典型的な形がある。30代の2人が言っていることが、幅広いリスナー層に訴えかけることができるよう、さらに工夫が欲しい。南さんのトークは、日下さんのコメントに頼りすぎている感じがある。その日の話題に対して、2人がどう思って考えたのかを、締め言葉としてしっかりと打ち出して欲しい。「じじばばにおはなをおくろう組合」で、対象が急にお年寄りになり、それ以外の番組の内容や対象と異なり違和感がある。BGMのコンセプトが見えてこないし、くどい感じがする。

山本委員

2人のトークが穏やかな感じがして良い。井戸端会議の話題を募集するにあたって、自分たちと同年代への呼びかけと、上の世代への呼びかけの内容を変え、いろいろなリスナーに対しメッセージが送り易くなるように配慮工夫されているのが良い。「音楽協同組合」のコーナーで、武良さんがその場で即興演奏するという企画は、プロでなければできないもので、惹かれる。BGMについては個人的には好きなジャンルの曲で良いと思う。

出口委員長

南さんと日下さんの二人の息がよく合っている。番組のタイトルコールに子供の声が多用されているが、子供向けの番組なのかなと思ってしまいそう。リスナーからのメッセージを聴いていると「K-mixのリスナーは皆さん真面目だな」という印象がある。

※ その後、この番組のメールの特徴、リスナーの特徴、武良静枝について番組スタッフから説明。

会社サイド

前回（第291回）では、パーソナリティのニュースの読みやトークのメリハリ、クイズコーナーでの演出などについて、ご意見をいただきました。その後、ニュースの読み方について特に留意して放送しています。今回（第291回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

7. 次回開催日 平成25年7月2日（火） 11:50～13:30を予定

以上

番組審議会委員長

出口泰規